

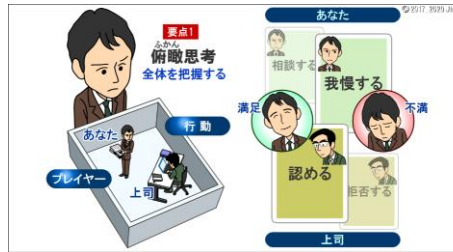
ゲーム理論の基本がわかるコース

「ゲーム理論」の“基本のキ”を学び、身近な問題解決に活かします。

ゲーム理論によって分析することで、問題の全体像を把握し、その本質を理解することに近づけるからでしょう。また、ゲーム理論では、全体像を見るという空間的な視野を広げるだけでなく、過去から未来まで時間的な視野をも広げることで、問題を見抜く力、問題を解決する力を身につけます。

<本コースのねらい>

- 「ゲーム理論」の全体像を理解する。
- 「ゲーム理論」の考え方の視点に沿って、身近なケースを取り上げながら考える。
- 「ゲーム理論」を学ぶことで、問題の本質を見る視点を増やし、問題解決に役立てる。



<各コースカリキュラム>

1. 問題の全体像をつかむ	1-1 ゲーム理論の目的と2つの特徴 1-2 与えられた状況を整理する -囚人のジレンマ<プレイヤーと戦略> 1-3 与えられた状況を整理する -囚人のジレンマ<利得表> 1-4 次に何が起こるかを予測する -囚人のジレンマ<ナッシュ均衡> 1-5 ジレンマから抜け出すために -ゲームの構造を変える
2. 社会が動くしくみを知る	2-1 みんなが同じ選択をする -コーディネーション・ゲームの構造 2-2 習慣に支配されるとき -コーディネーションの失敗
3. 利害関係の多様性を知る	3-1 利害関係の多様性を知る -チキンゲームの構造 3-2 利害関係の多様性を知る -男女の争いのゲーム構造 3-3 利害関係の多様性を知る -マッチング・ペニーズのゲーム構造
4. 時間の経過と状況の変化を読む	4-1 時間の経過とともに状況が変わる -ダイナミック・ゲーム<ゲームの木> 4-2 時間の経過とともに状況が変わる -ダイナミック・ゲーム<バックワード・インダクション> 4-3 時間的な視野で最適な行動が変わる -時間不整合性/コミットメント 4-4 時間的な視野で最適な行動が変わる -囚人のジレンマの場合
エピローグ ゲーム理論を応用するには？	5-1 ゲーム理論を応用するには？ 5-2 練習問題にチャレンジ

<概要>

受講対象者	● ビジネスパーソン全般 特に若手～中堅社員
仕様	● 想定学習時間：3時間 ● 最短実行時間：37分 ● テスト数：1（全10問、ランダム出題）
監修者	● 川西 諭 上智大学 経済学部 教授